



Let's Go! ビジュアル とやま教育史

さあ！ドリームと一緒に、教育史の旅に出よう！

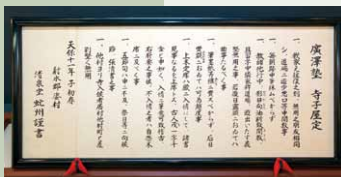
★年表内の は、このパンフレットに関連写真が掲載されています。

【江戸期】 (1603 - 1868)

「寺子屋」が開業し、県内500余りに普及。富山藩校「広徳館」が全国62番目に設立されました。寺子屋では読み・書き・算盤の実務教育が、武士の公的教育機関・藩校では朱子学が中心でした。



和暦	西暦	月	事 象
寛永 9	1632		八尾聞名寺にて「寺子屋」開く
明和 3	1766		富山に「小西塾」（臨池居）開く
安永 2	1773	6	富山藩校「広徳館」創設
安政 5	1858	2	<飛越地震発生> 有峰の大鷲・小鷲が崩壊



清泉堂広澤塾は、氷見市旧女良村姿にあり、天保年間(1830～)から明治の中頃まで続いた寺子屋。寺子屋規則の現物が存在する唯一のものです。

E002 広澤塾 寺子屋定



E003 寺子屋の師匠



E009 村づくし、国づくし(習字手本)

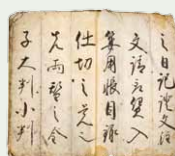


E004 こんかがき

書いてみよう！



紙が高価だったため、米ぬかを使って、字の練習をしました。実際に書いてみよう！

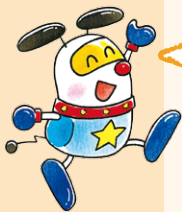


E010 商売往来
(商いの教科書)



E012

広徳館本
(富山藩校の教科書)



【明治期】 (1868 - 1912)

廃藩置県から新川県、石川県を経て富山県が誕生。
藤井能三が私財を投じ、創設した伏木小学校をはじめ、
公立学校が続々と開校され、就学率はほぼ100%に達しました。

和暦	西暦	月	事 象
4	1871	7	廃藩置県により富山県・金沢県設置
		11	富山県が新川県となる
5	1872	8	学制頒布（義務教育 4 年制）
6	1873	2	新川県最初の公立小学校「伏木小学校」開校
		10	新川県講習所・小学校教員養成所 開所
9	1876	4	新川県が石川県に編入
10	1877	11	致遠中学校 開校（婦負・上新川郡の公立中学校のはじめ）
16	1883	5	富山県設置（石川県から分離）、初代県令「国重正文」
18	1885	1	富山県中学校 開校（富山市総曲輪）県初の公立中学校
20	1887	6	師範学校に幼児保育場 開設、県初の幼稚園
23	1890	10	教育勅語 発布
		2	共立富山薬学校 開校（富山市梅沢町）、富山薬専の前身 【現／富山大学薬学部】
27	1894	10	富山県工芸学校 開校（高岡市）、全国で 3 番目の工芸学校 【現／高岡工芸高校】
		10	富山県簡易農学校 開校（南砺市）、県初の農学校 【現／南砺福野高校】
30	1897	4	市立富山簡易商業学校 開校（富山市）、県初の商業学校 【現／富山商業高校】
33	1900	4	富山県水産講習所 開所 【現／滑川高校海洋科】
34	1901	5	富山県高等女学校 開校（富山市）、県初の高等女学校 【現／富山いずみ高校】
39	1906	7	新湊町立新湊甲種商船学校 開校、日本海側唯一 【現／国立富山高等専門学校商船学科】
		3	小学校令改正（義務教育 6 年制）
40	1907	4	県立高岡高等女学校 開校 【現／高岡西高校】
		4	私立富山訓盲院 開校 【現／富山視覚総合支援学校】
44	1911	6	市立高岡実科高等女学校 開校、県初の実科高等女学校 【現／高岡高校】



M003 明治の遠足（復元模型）



M010 教育に関する勅語



M005 学制・富山県（新川県）告諭



M019 教授日録



M018

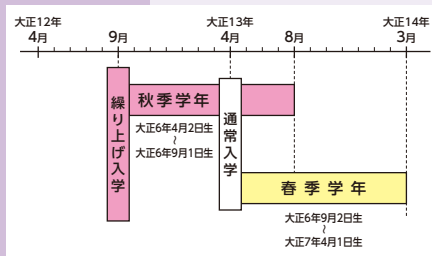
伏木小学校初代校長、
吉田五十穂の採用許可書
（本県最初の教員辞令）



【大正期】(1912 - 1926)

馬場はるが多額の寄付をするなど、高等教育機関設立への要望の高まりを受けて、全国初の公立7年制高等学校「富山県立富山高等学校(現・富山大学)」が開学しました。

和暦	西暦	月	事 象
3	1914	8	< 第1次世界大戦に参戦 >
5	1916	4	市立富山工業学校 開校 【現／富山工業高校】
		4	町立出町技芸女学校 開校 【現／砺波高校】
7	1918	7	< 魚津で米騒動起こる >
8	1919	4	射水郡立農業公民学校 開校 【現／小杉高校】
		5	馬場はる、旧制富山高等学校設立に県へ 100 万円寄附
12	1923	9	< 関東大震災発生 >死者、行方不明者 10 万人を超す
		9	富山市立小学校 8 校で秋季学年制実施 (～昭和 10 年)
13	1924	4	旧制県立富山高等学校 (7 年制) 開校 【現／富山大学人文学部・理学部】
		4	革新的教育の提唱者ヘレン・パーカスト女史来富
		6	馬場はる、旧制富山高等学校にヘルン文庫寄贈
14	1925	4	官立高岡高等商業学校 開校 【現／富山大学工学部】



大正に入ると、明治の画一的な教育の反省から、児童中心教育が進められた。大正12年、富山市内小学校8校で全国初の「秋季学年制」を実施。児童の発達、個性を重視した制度であったが、問題も多く昭和10年に廃止された。

T004 全国初の実施、富山市秋季学年制



T005 ダルトン・プラン創始者、ヘレン・パーカスト女史来富



T006 組み分け学習



T008 臨画から自由画へ



T014 小泉八雲図書館の復元模型



【昭和前期】戦前・戦中 (1926 - 1945)

二宮金次郎で知られる報徳教育が、県下に大きく広がりました。戦争が激化すると、小学校が国民学校に改称され、軍国主義的教育が強化されました。太平洋戦争中は県内各地で学童集団疎開を受け入れました。

和暦	西暦	月	事 象
2	1927	4	青い目の人形が小学校へ寄贈
		4	市立富山薬学校 開校 【現／富山北部高校】
4	1929		私立富山中等夜学校 開校 【現／雄峰高校】
7	1932	3	二宮金次郎と報徳教育の普及
9	1934	3	私立大谷実科高等女学校 開校、県初の私立高等女学校 【現／龍谷富山高校】
10	1935	10	町立滑川薬業学校 開校 【現／滑川高校】
12	1937	4	私立不二越工科学校 開校、県初の私立工業学校 【現／不二越工業高校】
		7	< 日中戦争起こる >
16	1941	4	県内小学校が国民学校に改称
		12	< 太平洋戦争起こる「真珠湾攻撃」 >
		4	高岡高等商業学校が、高岡工業専門学校に改称
19	1944	8	東京より県内各地へ第1次学童集団疎開 (延べ、約 15,000 人 受入)
20	1945	8	< 太平洋戦争終わる >



アメリカから来た可愛い親善大使

S002 青い目の人形「ヘレンエリザベス・ブラウン」
(高岡市立伏木小学校蔵)

国際親善としてアメリカから、日本に贈られました。(後日、返礼として日本からも、日本人形を贈りました。)

富山県には150体が贈られましたが、現在6体のみ残っています。



子どもたちの見た戦時風景



S004 子どもたちの見た戦時風景



S010 校庭の開墾



S014 燃える学校 (復元模型)



S016 英文の学校標札



【昭和後期】戦後 (1945 - 1989)

教育基本法公布、学校教育法制定とともに新体制による教育がスタート。ベビーブームの到来、全国学力テストの開始、共通一次試験の実施等、次第に受験戦争が過熱していきました。

和暦	西暦	月	事 象
22	1947	4	新制中学校（併設中学校含め 106 校スタート）
23	1948	4	県内新制高校 48 校発足 （県立 41 校 市町村立 4 校 私立 3 校）
		4	定時制・通信制高校制度スタート
		9	高校一斉統合により全日制 20 校、定時制 3 校に再編成
24	1949	5	旧制富山高等学校ら 5 校統合して、富山大学 開学（4 学部で）
27	1952	3	富山県総合教育計画策定
33	1958	4	富山通信産業高校 開校 【現／中央農業高校】
34	1959	4	富山大学経営短期大学部 開学
36	1961	1	県は県立高校職業科と普通科の比率を、昭和 45 年度までに 7 対 3 にすると発表
37	1962	4	県立大谷技術短期大学 開学 【現／富山県立大学工学部】
		4	富山東高校 開校
38	1963	1	< 38 豪雪 > 死者 15 人
		4	富山女子短期大学 開学 【現／富山短期大学】
		4	国立富山工業高等専門学校 開校
39	1964	6	< 新潟地震発生 M7.5 > 死者 26 人
		10	< 第 18 回東京オリンピック開催 >
41	1966	4	県立富山養護学校 開校
42	1967	4	県立新川女子高校 開校【平成 15 年 3 月閉校】
45	1970	3	< 大阪で万国博覧会開催 >
		4	県立高校職業科と普通科の比率が 63.4 対 36.6 となる
47	1972	2	< 冬季オリンピック札幌大会開催 >
49	1974	4	富山南、高岡南の 2 県立高校 開校
50	1975	10	国立富山医科薬科大学 開学 【平成 17 年 10 月富山大学、高岡短大と統合】
52	1977	7	富山県教育記念館 開館
55	1980	4	洗足学園魚津短期大学 開学【平成 14 年 3 月閉学】
56	1981	1	< 56 豪雪 > 死者 22 人
		4	水橋、呉羽、福岡の 3 県立高校 開校
58	1983	10	国立高岡短期大学 開学 【平成 17 年 10 月富山大学、富山医科薬科大学と統合】
		4	大門高校 開校
62	1987	12	★利根川進氏ノーベル医学・生理学賞受賞
63	1988	10	県民生涯学習カレッジ 開設

富山県の学校の先生が
作った教科書。全国へ！



富山県内の理科担当教員らが、自ら編さん・刊行し、全国の多くの学校で採用されました。江戸時代から続く売薬版画で培った、高い印刷・製本技術が教科書づくりに活かされました。



【平成期】(1989 - 現在)

「ゆとり・個性重視」へ。学校週5日制の完全実施が行われ、一方で総合的な学習の時間が51年ぶりに復活しました。国際化にともない、外国語教育がますます重視されています。

和暦	西暦	月	事 象
元	1989	4	高岡法科大学 開学
2	1990	4	富山県立大学、富山国際大学 開学
3	1991	1	< 湾岸戦争起こる >
4	1992	7	< ジャパンエキスポとやま開催 >
6	1994	7	全国高校総合体育大会（富山インターハイ）開催
		10	全国生涯学習フェスティバル（まなびピアとやま）開催
7	1995	1	< 阪神・淡路大震災発生 > 死者 6,434 人
		4	富山福祉短期大学 開学
9	1997	5	南砺福野高校「厳浄閣」国重要文化財指定
		2	< 冬季オリンピック長野大会開催 >
10	1998	8	「子どもとやま県議会」事業開始
11	1999	4	社会に学ぶ「14 歳の挑戦」、「12 歳立山登山」事業開始
		2	第 55 回国民体育大会（2000 年とやま国体）開催
12	2000	4	県立高校に学校評議員制度導入
		12	★白川英樹氏ノーベル化学賞受賞
13	2001	4	新川・砺波地区生涯学習校開校、「高校生さわやか運動」事業開始
		9	< 米国同時多発テロ発生 >
		4	富山いずみ高校 開校（富山県最後の女子校共学化）
14	2002	12	★小柴昌俊氏ノーベル物理学賞受賞
		12	★田中耕一氏ノーベル化学賞受賞、富山県名誉県民の称号贈呈
15	2003	3	< イラク戦争起こる >
		4	「とやま教育ルネサンス構想」スタート
		4	高岡地区生涯学習校 開校
		4	小学1年 35 人学級実施
16	2004	10	< 新潟県中越地震発生 M6.8 > 死者 68 人
		12	< スマトラ沖大地震・インド洋津波発生 M9.0 > 死者 22 万人を超す
17	2005	4	県立学校に外部評価制度導入
		10	県内 3 国立大学が再編統合、新富山大学 開学
		3	< 能登半島地震発生 M6.9 > 死者 1 人
19	2007	7	< 新潟県中越沖地震発生 M6.8 > 死者 15 人
		12	県立学校教育振興計画 基本計画策定
21	2009	10	富山工業高専と富山商船高専が統合。富山高等専門学校 開校
22	2010	4	県立高校 10 校を 5 校に再編 【滑川、富山工業、氷見、高岡工芸、南砺福野】
23	2011	3	< 東日本大震災発生 M8.4 > 死者 19,533 人
24	2012	8	全国高校文化祭とやま 2012 開催
		4	高等特別支援 2 校を開校
25	2013	4	大学コンソーシアム富山 開設
		9	富山県教育振興基本計画策定
		3	< 北陸新幹線、あいの風とやま鉄道開業 >
27	2015	4	富山県総合教育会議設置（教育委員会新制度開始）
		12	★梶田隆章氏ノーベル物理学賞受賞
28	2016	3	富山県教育大綱策定

富山県に
縁のある人が
5人もノーベル賞を
受賞してるね!

